



2018年度 杏林大学 一般入学試験

I

問1 ③ ⑤ 問2 ④ 問3 ① ⑤ 問4 ③ 問5 ③
問6 ⑤ 問7 ③ 問8 ④ ⑤ 問9 ①

II

問1 ⑥ 問2 イ:① ウ:⑤ エ:② オ:④ 問3 カ:② キ:④ ク:④
問4 ケ:⑤ コ:⑤ サ:⑥ シ:⑤ スセソ:132 問5 ③

III

問1 アイ. ウ:04.8 問2 ④ 問3 ② 問4 ① 問5 ③
問6 クケ. コ:12.3
問7 ③
問8 ⑤ 問9 ④
問10 セ:② ソタ:07 チツ:31



2018年度 杏林大学 一般入学試験

【 講 評 】

比較的受験生の解答しやすい問題が多く並ぶ試験であった。ⅠとⅡでは基本的な出題が多く、ここでミスした受験生は苦しい。Ⅲでは多くの計算を素早く処理する必要があった。総じて出題内容は植物の反応や進化や分類を交えバランスよく、基本レベルの確認をする良問が多かった。

Ⅰ 小問集合	難易度： やや易
正確な知識が問われる。幅広い分野から出題されており、取りこぼしの無いようにしたい。	
Ⅱ 個体群 発生 ホルモン 代謝 遺伝子	難易度： やや易
問 4 のカルビン・ベンソン回路における各物質の係数は平易な問題であるが、二酸化炭素の取り込み時、グルコースの生成時の炭素の増減に注目すればよい。	
Ⅲ A 酸素解離曲線 B 原核生物と真核生物 C 分子系統樹 D 三点交雑法	難易度： 標準
D の問 8 および問 9 の解答作成の際には、減数分裂のどの時点であるかを正確に把握する必要がある。また、問 10 では劣性の突然変異遺伝子であった f に優性突然変異遺伝子 A および B を導入して三点交雑を行っているので、この設定に対応できなかった受験生もいただろう。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・金沢医科大・昭和大・近畿大・藤田保健医・日本医科大
大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎ 0120-148-276